# SAU

日本初!家庭用無煙テントサウナが叶える 「サウナのある暮らし」

深田渚央 Vanwaves Co., Ltd.

# NA

























IE SAU NA

家庭用サウナは富裕層がメインのマーケットとなっている



価格

本体費用+施工でおよそ300万円と高価。

電気工事必須

200Vへ変更するため、電気工事が必要。 持ち家でない賃貸では難易度が高い。

スペース

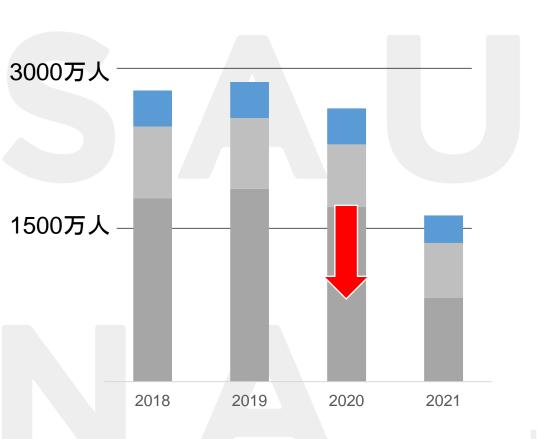
広いスペースが必要。 特に都心の賃貸物件ではスペースがない。

IESAUNA

# サウナブームと言われているがコロナによってマーケットロスが起きている

# 施設サウナ人口は1000万人減 その内ライトサウナーが800万人

# コロナ禍でサウナに行く回数が減少 地方施設は閉館も増加



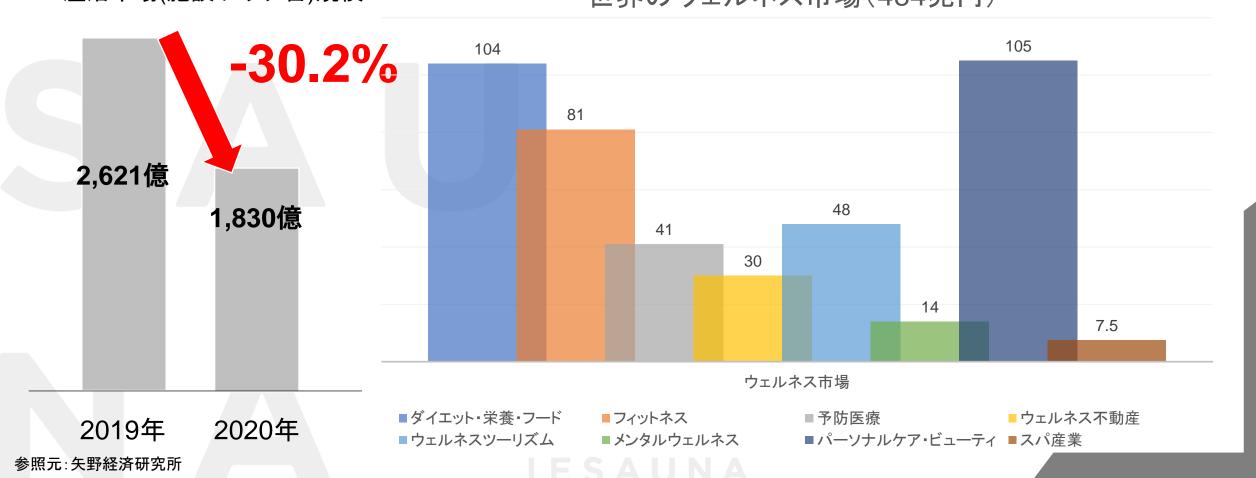
都市圏地域	サウナー	対前年比
関東	ヘビー	-31.2%
	ミドル	+4.7%
	ライト	-45.3%
関西	ヘビー	-5.1%
	ミドル	-40.6%
	ライト	-44.1%
その他	ヘビー	-24.7%
	ミドル	-12.3%
	ライト	-57.3%

参照元:サウナ総研 【日本のサウナ実態調査2022】サウナ愛好者人口1000万減/Japan Sauna Survey 2022 | 日本サウナ総研のプレスリリース | 共同通信PRワイヤー (kyodonewsprwire.jp)

機会ロスした顧客層の取り込みでマーケット全体の成長に貢献ウェルネス市場は急成長。サウナは医学的にもウェルネス市場と相性が良い。

温浴市場(施設サウナ含)規模

世界のウェルネス市場(484兆円)

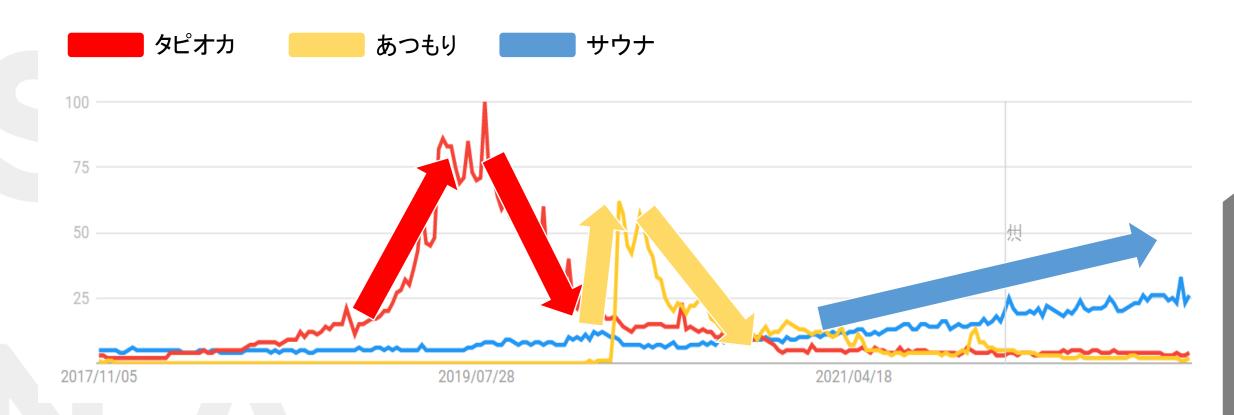


サウナブームは本当にブームなのか?エサウナ

IE SAU NA

# Google の5年間の検索推移を見ると一過性のブームではなく文化になりつつある

サウナは副交感神経を優位にするため、依存性があるといわれている。



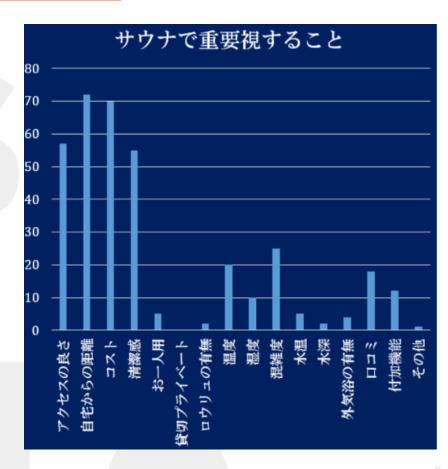
ΙE SAU

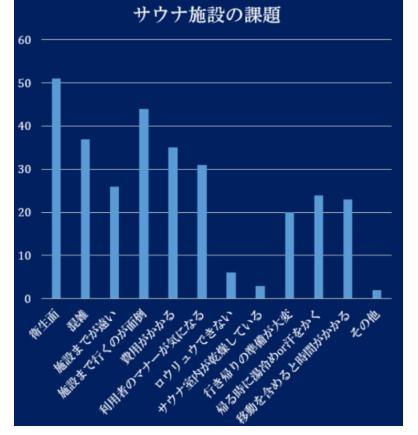
100人へのアンケート調査・30人へのインタビューから見えてきた課題。 サウナ施設に感じる課題は、 サウナ施設で重要視することは

NA

「家からのアクセス」

「施設へ行くまで面倒」





週1回以上サウナ施設へ行くヘビーサウナーへのアンケート調査より サンプル数:100人 (男性:65人、女性:35人)

### 家庭用サウナの最適解としてソリューションを設計



アクセスの良さ

短時間

気軽さ

スピード

清潔感

湯冷めしない

コスト

天気に影響されない

省スペース

時間がかからない

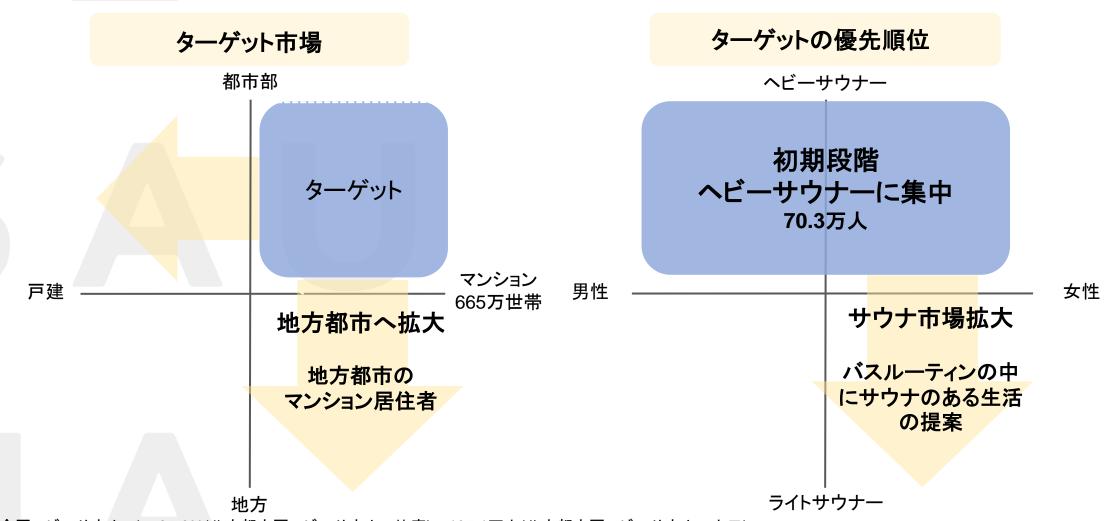
プライベート

施工不要

# ターゲットと拡大のための戦略

IE SAU NA

初期段階では都心在住のヘビーサウナーをメインターゲット拡大とともに、バスルーティンにサウナを組み込み、サウナ市場を拡大



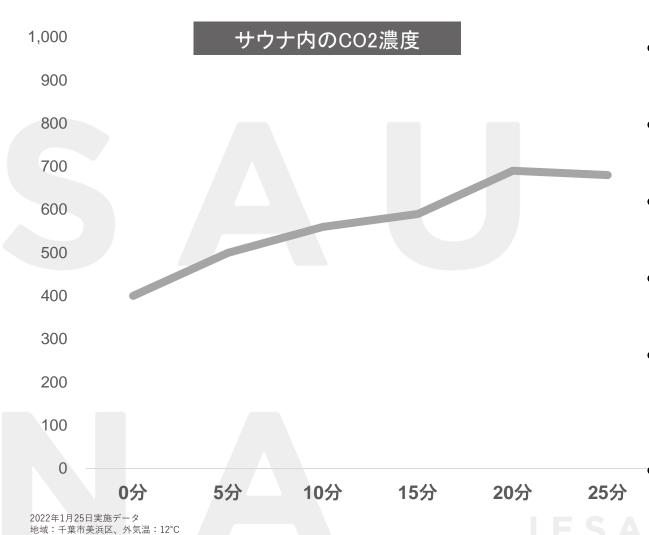
386万人×(全国ヘビーサウナー)×35.0%(八大都市圏ヘビーサウナー比率)=135.1万人(八大都市圏ヘビーサウナー人口) 135.1万人/1億2580万(総人口)=10.7%

10.7%(八大都市圏ヘビーサウナー比率)×バルコニースペース確保指数42.4%×全国マンション住まい1,551万人=70.3万人

### IESAUNAの安全性

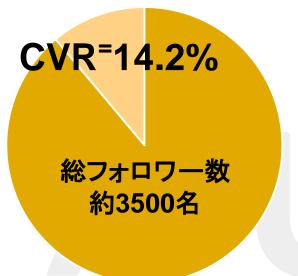
IE SAU NA

火を直接利用しないためバイオエタノール暖炉よりも安全に利用可能



- ・CO2濃度は700ppm以下と安全性を実現
- 消防法上は問題なく使用可能 環境調節原
- バイオエタノールは一酸化炭素フリー
- **暖炉と違い**、火はストーブ内のみ
- テント内はさらに難燃シートによって安全 を確保
  - 電気を使用しない為、ショートなどの危険 性もなく、いつでも、どこでも使用可能

# 50日間の販売で約500基販売。CVRは14%と高い水準を維持





- SNSのフォロワー数から算出するとCVR=**14.2%**
- →SNSマーケテイングで販売拡大が期待できる。
- ・ 自社開催の体験会に300名が参加し、約30%が購入。
- →D2Cではタッチポイントの拡大

課題:生産台数を需要が大きく上回り販売停止が発生

生産台数の増加が急務(来年度生産台数3倍)

### IESAUNA

# IESAUNAが持つ高いポテンシャル イェサッナ

IE SAU NA

# 施設サウナ平均と比較しても、勝るとも劣らないソリューションとなっている

### 施設サウナ



平均温度:男98℃ 女87℃

最大平均: 男101℃女89℃

ロウリュがない施設が多数

### **IESAUNA**



30分当たりの温度:90℃

最高温度:110℃

ロウリュ可能で体感温度はより高い

### 引用元:日本サウナ総研

### お客様からのお声(体験会にて)

- 「サウナ施設と変わらない体感温度ですね。これならストレス発散して、心身がスッキリできます!」30代男性サウナー
- 「こんなに熱くなるとは想像していなった!すぐに癒される駆け込みどころになりますね」20代女性サウナー
- 「落ち着ける時間が欲しかったので、自分が無になれるのは気持ち良いです」30代女性サウナー
- ・「自分のペースで楽しめ、気兼ねなく過ごせるのが心地よいです」40代男性サウナー
- 「静寂を味わい、瞑想ができます」40代男性サウナー
- 「ずっと探していて最適なモノが見つかった!」30代女性サウナー

S A U N A

### 1人1人に最適なサウナは違うため、ユーザーイノベーションが起きやすいデザイン







サウナのある暮らし"IESAUNA"のすすめ











### アフターサービスによる顧客満足・カスタマーリレーション強化



コニュニティイベント



スタイルブック



オプションギア販売

### 期待される効果

- ①IESAUNAのUXを標準化 (日々の体験価値が高い状態を創る) 温度/ロウリュ/空気の循環/断熱素材/香 り等
- ②バイオエタノール燃料の安定的な収益確保
- ③顧客とのリレーション構築 (親近感の創出による、SNS等のエン ゲージメント向上)

メディアでの取り上げ(フォロワー増加に期待)

SAU NA

PR戦略で広告費をかけず様々なメディアに取り上げて頂きました!





# 新聞



# 千葉日報



# インターネット記事





















**BEST SAUNA** 



# Youtube











# IESAUNA事業のビジネスモデルについてサッナ

IE SAU NA

# ファブレスメーカーとして製造/D2Cで販売/顧客との独自のコミュニケーション

### 主要活動(KA)

- •HW/UX設計
- ・マーケテイング
- ・アッセンブリー/発送/倉庫業務
- •専用燃料開発

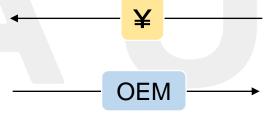
### 経営資源(KR)

- 顧客とのリレーション
- \*業界人脈
- ・ 先行者としてのブランド

### 顧客との関係(CR)

売切りではない長期的な関係 顧客がSNSでシェア

OEM会社



OEM·顧客情報

ΙE

SAU

NA

¥

IESAUNA購入

商品・サービス

エタノール定期購入

-----¥ ---

 $\square$ 

ユーザー

エタノール メーカー A

商品

IESAUNA

# IESAUNA本体と燃料のサブスクリプションでさらに収益性を高めることが可能

プロダクト	価格•利益	課題	課題に対して取組
IESAUNA本	体 価格:¥180,000(税抜)	・現状生産数が年間400台 ・物流ひっ迫	<ul> <li>・1000台以上であれば、ボリュームディスカウントで利益率向上 →価格競争力も強化できる。</li> <li>・倉庫業委託で社内工数削減</li> </ul>
バイオエタノー IE 第月バゲエタノール 12 第73-28 875 SAU 第75-38 875 SAU 8	-ル 価格: 都度 - ¥8,636(税抜) 月額 - ¥8,000(税抜)	・アルコール製品の価格高騰 ・価格競争力 →他社製品より10%ほど高価	<ul><li>・粗利率向上のためOEM予定</li><li>・OEM場合:</li><li>価格競争力も強化できる。</li><li>・他社にはない、エコフレンドリーな生成と安全性表示を訴求</li></ul>

# IESAUNAのポジショニングと競合について

IE SAU NA

サウナ市場では圧倒的なアクセスと価格競争力を担保し、ターゲットも明確に設定。

### サウナ業界のポジション

### 家庭用サウナ市場(80℃以上)



# 差別化要素について

IE SAU NA

### 先行者利益としてサウナ業界での認知度は向上しており、類似商品も現状ない。

### 強み

- 先行者利益(業界の中のIESAUNA認知度)
- アルコール業界の障壁
- サウナ業界のネットワーク・知見
- 特殊な断熱工法によるサウナクオリティの高さ
- 特許の取得

### 弱み

- ボリュームメリットが活かせていない
- 生産限界台数が低い
- 資金力

### 機会

- ・ サウナへの注目度の向上
- ・ 女性サウナーの増加
- プライベートサウナなどサウナ施設の多様化
- サウナの医学的効果の立証

### 脅威

- ・ アルコール/鉄などの価格高騰
- テントサウナ商品の低価格化

### ソリューションの質と事業領域の拡大の両軸で事業成長を図る

### ソリューションの質の向上



- チラーメーカーと共同開発中
- アウトドアファニチャー販売
  - →トータルソリューション化
- おうち時間向上に向けたその 他商品とのコラボ



電気ストーブとコラボ

→ハイエンドソリューション確立





風呂付き客室などからも引き合い有

### タッチポイントの増加



- ハウスメーカーとの連携(サウナ付住宅)
- 銭湯施設とのコラボ
- ・ 事業領域拡大に伴い販促にも貢献

生産体制の強化並びに燃料開発に伴い3年目以降は利益率が向上。

